



# ズーラシアおひさま市民発電所 設置プロジェクト 企画概要

2009.2.22 (12訂版)

創エネ市民プロジェクト

(Y150つながりの森・出展プロジェクト)

徳留佳之



# 1. 創エネ市民プロジェクトとは？

横浜開港150周年記念イベント ヒルサイド・Y150つながりの森に出展する市民プロジェクトのひとつ。市民の力で「省エネ」に加え「創エネ」も積極的に提案・推進しようとするもの。下記3つから成る

1. 「**ズーラシアおひさま市民発電所設置プロジェクト**」  
(趣旨・経過報告などを 9/22～27に展示)
2. 「**手作りエネルギー 提案プロジェクト**」 (巻末※1参照)  
(実用「創エネ」製品などを 9/22～27に展示)
3. 「**ヒルサイド『創エネ』セミナー**  
～『創エネ』を考え・楽しみ・実践する3日間」 (巻末※2参照)  
(9/21～23にステージで講演会など展開)



## 2. そもそものきっかけ

---

1. 2009年は、横浜開港**150周年**(Y150)・横浜市制120周年・旭区制40周年・ズーラシア10周年
  2. 港とともに発展した365万都市横浜のこれからは、**港だけでない新しい顔・拠点が必要＝ヒルサイド**
  3. Y150をヒルサイドで開催する以上、これからの**150年を指し示す拠点たるシンボル**がほしい
- 化石エネルギーは150年どころか、50年ともたない  
「**自然エネルギー**施設」こそ、ふさわしく最適



### 3. 背景にある重要なポイント

1. 地球温暖化防止対策のひとつとしても、  
自然エネルギー推進は時代の要請・急務  
エネルギーの地産地消・安全保障にも貢献

枯渇性エネルギーは「偏在」←→自然エネルギーは「遍在」  
(利権・紛争・戦争のもと) (地域自立・持続可能)

2. 横浜市としても自然エネルギーを積極的推進  
「CO-DO 30」=2025年までに10倍増(08年1月)、  
グリーン電力基金ヨコハマプロジェクトも開始(08年5月)
3. ズーラシアとしても各種エコロジー的取り組み  
天然ガス車導入、ISO14001も取得(08年7月)



## 4. なぜ「太陽光」発電なのか

---

1. 動物の糞尿発電は、ズーラシアは肉食動物中心で資源量が少なく発電効率・費用対効果が低い
2. 風力発電は、ベイサイドのシンボルとして、2007年に「ハマウイング」が竣工したばかり
3. ヒルサイドのシンボルには、**太陽光発電施設**がふさわしい

※騒音・振動もなく、温室効果ガスも発生せず、耐久性に優れ、もっとも自然に優しく、ズーラシアの環境にもなじむ



## 5. 増えている市民がつくる発電所

1. 市民出資による風力発電所はすでに全国に11基。総合計で3600人が21億円を出資。**自然エネルギー推進のシンボル**
2. 設置費1千万円未満の市民による太陽光発電所も、設置例が急増中。昨年8月には川崎市国際交流センターに完成。
3. 神奈川県内でも、資金調達や協働の方法に差はあるものの、下記に市民による太陽光発電施設が設置されている。

- ・横浜市港南区金井幼稚園
- ・横浜市都築区川和保育園
- ・横浜市**旭区**八橋保育園
- ・横浜富士見丘学園(**旭区**)
- ・辻堂海浜公園
- ・神奈川県立三浦臨海高校
- ・小田原市立大窪小学校



## 6. 設置の趣旨・狙い

---

1. 関心のある人だけでなく、**関心のなかった人**や商店・企業とも**つながり**をつくり、広く巻き込み、**自然エネルギー導入促進の気運**をつくる
2. 自然エネルギーや環境に対する**啓発・普及・教育**の場・機会を増やす
3. ズーラシアでのエコロジー的取り組みを通じて、**まちづくりの一環**として市民参加の機会を増やし、ズーラシア・旭区・横浜の**イメージアップ・活性化**を図る  
→「エコ・エネ・ズーラシア構想」



## 7. エコ・エネ・ズーラシア構想とは？

---

1. ズーラシアを「**エコ+エコ・エネルギー**」の拠点・シンボルに育て、**Y150の成果を次世代につなげたい**
  2. 動物の糞尿発電、隣接プラントの木質チップ活用など、各種自然エネルギー導入の可能性を検討
  3. **まずは**、太陽光発電設置からスタートすることに太陽光だけに終わらせず次なる展開も構想中
- 旭山動物園を凌ぐ 新たな横浜・日本の顔に！



## 8. 園内のどこに どんな施設を？

当初、シンボルとして縦型の塔の設置を検討したが、塔は設置だけで基礎工事・構造計算・建築確認等も含め多額の費用を要し、設計・工事他各種リスクも多大なため断念。

幸いペンギン・ホッキョクグマの海獣舎の見学スペース屋根が来場者に目立ち、南向きで条件がいいので、そこに内定。園内の電力線と結び(系統連係)水槽のポンプの一部電力を賄いホッキョクグマの救済もイメージ。まずは、3~5kW程度を想定。デザインもY150に相応しく検討。





## 9. 費用はどうする調達するの？

1. 「ズーラシア動物絵はがき」頒布により市民から寄付金募集  
(@500円×6000セット=300万円目標)
2. 企業等からの協賛金(1口1万円×50口目標)

合計350万円を2009年1～6月で集めるのが最大目標  
最低200万円を2009年1～8月で集めれば9月に設置

※塔建設予定の当初は、グリーン電力基金や横浜市の「まち普請」事業など助成金獲得も検討したが、塔建設はなくなったので、無理のないところからからスタートすることに。



## 10. どんな動物絵はがきが？

- (1) 印刷初期費用10数万円は、Y150の  
市民創発プロジェクト出展費用で負担(了承済)
- (2) 写真は区内在住フリープロカメラマン佐藤幸稔氏が撮影
- (3) デザインは区内在住の創発メンバー山中勝氏がデザイン
- (4) 印刷も区内業者。私を含め、**全員が旭区**在住スタッフ
- (5) 頒価**500円(5枚セット)**で**有償頒布し、その全額が寄付金**
  - ◆Aセット「オカ・ゾウ」セット (以下5枚＋表紙)  
**オカピ・インドゾウ**・ホッキョクグマ・オランウータン・オセロット
  - ◆Bセット「パン・トラ」セット (以下5枚＋表紙)  
**レッサーパンダ・スマトラトラ**・ホッキョクグマ・オランウータン・オセロット
- (6) 当プロジェクトが日常やイベントで**有償頒布**するほか、  
商店・企業・個人の委託での**有償頒布**も実施  
→有償頒布活動が啓発・普及活動にもなる



# 11. スケジュール

---

- 08年12月 設置場所内定、絵はがきデザイン
- 09年1月 絵はがき印刷・頒布開始、ホームページ開設
- 09年2月 提携・タイアップほか本格的PR展開開始
- 09年3月 太陽光パネルデザインアイデアなど検討
- 09年4月 ズーラシア10周年イベント(連動企画検討)
- 09年7月 Y150ヒルサイド開幕(提携ブースでも有償頒布)
- 09年8月 設置工事日決定(寄付金の状況による)
- 09年9月 設置工事(2日程度)  
1~20日のうち1日を使い開設イベントを実施  
21~23日「つながりのステージ」展開  
22~27日「つながりの広場」展開(展示)
- 09年10月 旭区40周年記念式典(連動企画検討)



## 12. 補足事項

---

- (1) 寄付金は専用口座に随時入金し一括管理する。  
→ 中央労働金庫 星川支店 普通預金 2620930  
ズーラシアおひさま市民発電所設置プロジェクト
- (2) ホームページを開設 → <http://cc-pr.net/zoosun/>  
集金状況報告・ネットでの絵はがきの有償頒布も掲載
- (3) 設置資金をズーラシアに寄付しズーラシアが発注・設置  
※上記は市の意向で「当プロジェクトが設置し寄付する」方向で調整中
- (4) 設置後は、維持費用も含めズーラシアが管理
- (5) 絵はがきによる寄付金募集はY150会期末(～9/27)までとし  
万一資金不足なら、別プロジェクトとして引き継ぎ継続する。

## 13. おわりに～おねがい

- (1)ご意見・ご感想・ご批判・励ましなどお寄せください！
- (2)プロジェクトにメンバーとして、ご参加ください！
- (3)絵はがきの委託有償頒布にご協力ください！
- (4)9/21～27の会場運営ボランティアにご参加ください！

徳留までメールかお電話を

[Y150@tokuto.net](mailto:Y150@tokuto.net)

090・4754・0900





# ※1 手作りエネルギー提案プロジェクト

日時: 2009年9月22日(火・祝)～27日(日) 9:30～20:30

会場: 「ヒルサイドY150つながりの森」 つながりの広場 A-2  
(開国博Y150＝ズーラシア隣接地区／横浜市旭区)

趣旨: 寄付金による発電所設置以外にも誰でも身近でできる『創エネ』のメニューと具体的方法を紹介する

内容: 1. 自然エネルギーの最新情報・機器の展示

2. 全国各地の『創エネ』事例の紹介

3. 実用的『創エネ』グッズの実演・展示

①クーラー使用が減らせる太陽光「日和見扇風機」

②非常時・アウトドアでも使える「エネルギーBOX」

③携帯電話ソーラー充電サービス ほか



## ※2 ヒルサイド『創エネ』セミナー

副題: 『創エネ』を考え・楽しみ・実践する3日間

日程: 2009年9月21日(月・祝)～23日(水)

会場: 「ヒルサイドY150つながりの森」 **つながりのステージ**

**第1日◆9月21日(月・敬老の日) 9:30～12:00**

「対比して考える日本とスウェーデンのエネルギー事情」

第1部: **映画**「ぶんぶん通信1」上映 9:45～10:45

※鎌仲ひとみ監督の最新作発表前のメイキング映像

第2部: 鎌仲ひとみ **監督講演** 10:45～11:45

**第2日◆9月22日(火・国民の休日) 12:15～14:45**

「私にもできるエネルギーの地産地消あります」

—「省エネ」に加え「創エネ」を楽しもう! (講師調整中)





## ※2 ヒルサイド『創エネ』セミナー（続き）

第3日 ◆ 2009年9月23日（水・秋分の日） 9:30～14:45

「自然エネルギー最前線～市民による創エネの可能性と展望」

第1部：「省エネ&創エネ スペシャルトーク」

10:00～11:30

田中優（未来バンク事業組合理事長）× 鎌仲ひとみ（映像作家）

第2部：「自然エネルギー最前線」

11:40～13:00 環境エネルギー政策研究所(ISEP) 竹村英明

第3部：市の取り組みと市民による「創エネ」の胎動

13:15～14:15 田中信一郎（横浜市地球温暖化対策事業本部）

第4部：ズーラシアおひさま市民発電所設置プロジェクト 現状報告

14:15～14:45 徳留佳之（創エネ市民プロジェクト 代表）